学校教育目標：笑顔いっぱい 楽しく学ぶ 鍋島っ子の育成

なべしまっ子

学校便り６号
令和８年１０月５日
児童数７０８名
文　責　井原　竹始

友達理解について考える

多くの子供たちが、「友達と仲良くしたい」という思いをもっています。しかし、「自分の考えを聞いてくれなかった」「自分の考えを否定ばかりする」「友達が自分勝手なことばかりする」「自分が苦手なことをばかにされた」などの理由で、トラブルになることも多いです。自分の価値観（ものさし）で友達を見てしまっているのが大きな原因です。

友達を理解するには、「違い」を前提に認め、否定せずに話を聴くことが大切です。自分の価値観を一度脇に置き、相手の視点に立って話を最後まで聴く「傾聴」と「受容」の姿勢が大切です。

まず、次の４つのステップを実践していくことで、友達理解は深まっていくと思います。

≪友達を理解するための基本ステップ≫

〇話を遮らずに最後まで聴く

自分の意見を抑え、相手の言葉に集中します。

〇相手の視点で世界を見る

「自分ならこう考える」ではなく、「相手にはどう見えているか」を考えます。

〇否定せず、ありのままを受け入れる

意見が違っていても、批判や評価をせずにそのまま受け止めます。

〇まず自分を知る

自分自身の思い込みや価値観（フィルター）に気付くことで、他者を客観的に見られるようになります。

さらに以下のようなことも考えて行動すると、友達関係が良好になると思います。

〇「違い」を前提にする

・価値観や意見が自分と違うのは当たり前と考えます。
・「分かり合う」を「意見や好みが完全に一致すること」と混同しないようにします。
・相手の考えに同意できなくても、一人の人間として尊重します。

〇素直に話してしっかり聞く

・自分の意見を伝えるときは「私Ｉ（メッセージ）」主語で話します。
・すぐにアドバイスや解決策を言わず、まずは相手の気持ちを受け止めます。
・相手が嬉しいときは自分のことのように一緒に喜び、共感を示します。

〇適度な距離感を保つ

・人間関係は常に変動する生き物のようなものと捉えます。
・無理に合わせすぎず、お互いに心地よい距離を自分で調整します。
・相手に期待しすぎず、気楽な関係から少しずつ絆を深めていきましょう。

今月は、１～４年生はバス旅行、５年生は自然教室、そして来月は６年生が修学旅行です。この際にグループを作っての活動があると思いますが、友達理解を深めるチャンスです。グループのメンバーが仲のよい友達ばかりとは限りません。これまであまり話せなかった、仲良くできなかった人もいるかもしれません。活動を成功させるために、グループ全員が自分の考えを話し、メンバーの話をしっかり聞いて、それぞれの考えを尊重し、考えを調整しながら活動していくことが大切です。違いを認め、相手を思いやる優しい気持ちがあると、友達と協力して楽しく活動できると思います。

授業参観ありがとうございました

９月２５日（金）に、授業参観を行いました。今回もたくさんのお家の方に来校していただきました。ありがとうございました。子供たちの学習の様子はいかがだったでしょうか。子供たちは、お家の方が来てくれたことが嬉しくていつも以上に張り切って学習していたように思います。

それぞれの学年、学級で様々な学習が展開されていました。学習内容の定着のために、親子で算数の練習問題に取り組んでいる学級、グループで考えたダンスを披露している学級、修学旅行について学習している学級、友達の考えと比べながら自分の考えを積極的に発表している学級、自分のめあて解決のために、解決方法を選びながら学習に取り組んでいる学級・・・。どの学級においても、子供たちが学習に向かう姿を見ていただけたと思います。

今回の授業参観を話題にしながら、学校のことについてお子さんと話をしていただけたら嬉しいです。授業参観だけでは分からなかった、お子さんの頑張り、成長、友達関係、困っていることなど知ることができると思います。子供たちはお家の方との会話を欲している思います。

次回の授業参観は、１１月２１日（土）のフリー参観デーとなります。また、子供たちの様子を見に来てください。お待ちしています。

台湾の小学生と手紙交流






本校では、毎年６年生が、外国語の授業の一つとして、台湾の小学生と手紙交流をしています。今年も、９月２９日、１０月２日の２日間、八戸溝郵便局長の石原さんに講師として来ていただき、台湾の歴史、交流する学校の紹介、英語での手紙の書き方などを教えてもらいました。

今年交流する新甲（しんちゃ）小学校は、７７学級、全校児童が２１１４人のとても大規模な学校です。校舎、グランド、図書館等、立派な施設の写真を見せてもらい、子供たちは驚いていました。また、台湾の学校の１日の学校生活の様子や、台湾の子供たちが、日本のアニメが好きなこと、日本の子供と同じゲームが好きなことなどを教えてもらい親近感も覚えたようでした。

子供たちは、例文を参考にしながら、自己紹介や質問などを英語で一生懸命に書いていました。手紙と一緒に、手作りのしおりも作成し、添えて送ることになります。手紙での国際交流です。台湾の小学生もきっと喜んでくれると思います。台湾の小学生からの返事は、石原さんが手紙の和訳を添えて、また学校へ持参してもらうことになっています。返事が届いたとき、子供たちがどんな表情で手紙を読むのか楽しみです。

SNSトラブルに注意!!

保護者の判断で、お子さんにスマートフォンやタブレット、通信機能付きゲーム機等を持たせている家庭もあると思います。安全対策はされていますか。各家庭で使い方のルールを決め、使用状況を確認されているでしょうか。絶対に子供任せにしないでください。小学生段階で様々な判断をして管理することは難しいです。ＳＮＳトラブルは、誹謗中傷、個人情報の流出、ネットいじめ、詐欺や犯罪被害など、多岐にわたる深刻な問題を引き起こしています。子供たちを様々な危険から守るため、ご家庭での指導、管理をお願いします。